

仙台めぐりのはじまり 1

中心部エリア

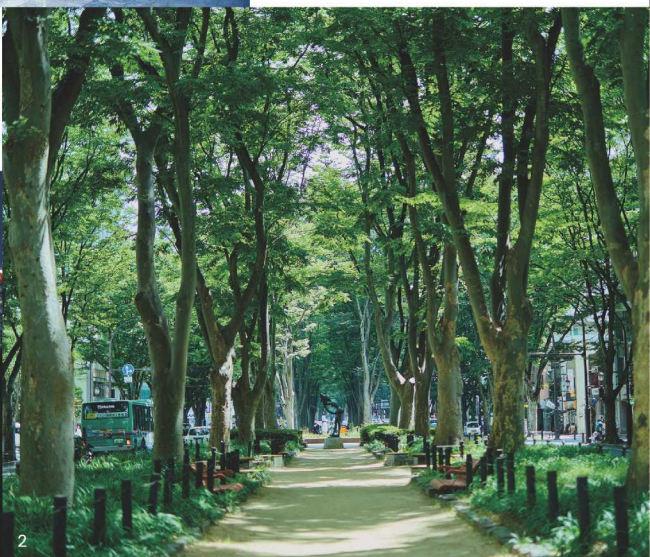
伊達政宗公が眠る霊屋「瑞鳳殿」は、桃山文化の遺風を伝える絢爛豪華な廟建築が魅力。仙台七夕まつりや紅葉の時期にはライトアップが実施され、彫刻や鎗金具などの雅やかな装飾が幻想的に浮かび上がる。

歩くたびに歴史と文化、そして街の息づかいにふれることができる中心部エリア。そのブランドコンセプトは「歩いて発見伊達なまち」と。あなたのとっておきを見つけよう。青葉山には仙台の基礎を築いた伊達政宗公ゆかりの史跡が点在し、長い歴史や奥深い文化を感じながら散策を楽しめます。杜の都の象徴・定禅寺通では、季節





1.建築家・伊東豊雄が手掛けた「せんだいメディアテーク」。各階を貫く13本のチューブが特徴。 2.ケヤキ並木が美しい、杜の都のシンボル・定禅寺通。 3.地下鉄東西線「国際センター駅」から望む夜景は、街の中へ真っ直ぐ伸びる橋脚が印象的。 4.東北随一の歓楽街である国分町をはじめ、中心街の路地裏には個性豊かな横丁が点在。



ごとに異なる表情のケヤキ並木に心が和み、さまざまなイベントも。駅前から続くアーケード街には、個性的なショップや老舗の味が軒を連ね、さらに東北随一の歓楽街・国分町エリアが近接するなど、多彩な魅力が充実しています。思わず足を止めたくなる出会いが、あちらこちらにあふれるエリアです。

仙台めぐりのはじまり 2

秋保エリア

秋保地区を流れる名取川が刻んだ溪谷・「轟々峡」。「轟」とは石がごろごろしている様子のこと。奇岩が連なる風景と川音に包まれ、四季折々の情景が心に深く響く。

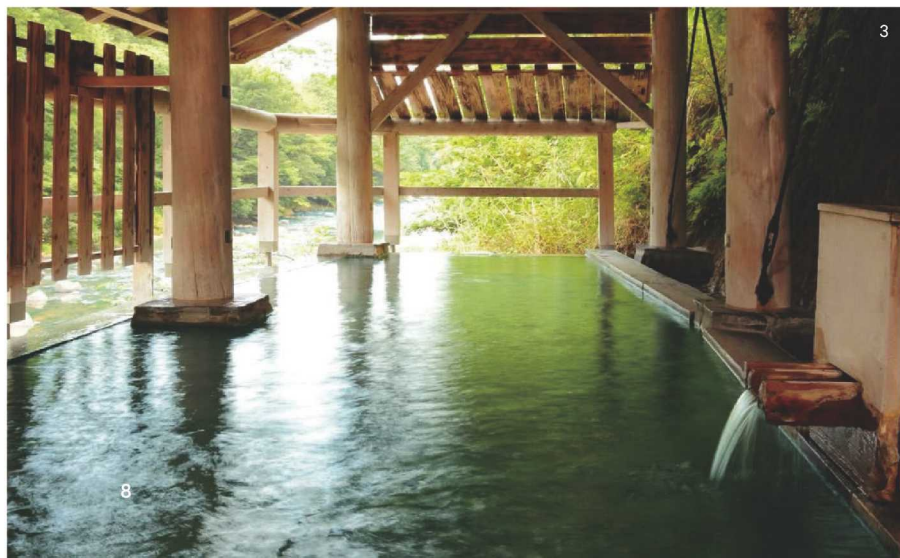
仙台市中心部から車で約30分。「日本三御湯」のひとつとして知られる秋保温泉郷が広がる秋保エリアのコンセプトは「秋保クラフトバレー」Craftsmanship & nature」。温泉はもちろん、自然や手しごとにふれられる地域です。名取川の清流に沿って、ものづくりに魅せられた人々が集うこの地は「クラフトバレー」。



1.やさしい表情と、華やかな色使いが魅力の秋保こけし。秋保地区にある工房では、自分好みのこけしを探したり、絵付け体験を楽しめる。 2.近年、秋保地区にはおしゃれなカフェが続々誕生。地元の食や空間づくりで秋保の魅力を発信している。 3.効能豊かで豊富な湯量を誇る、日本三御湯のひとつ・秋保温泉。伊達政宗公も好んで湯を愛し、御殿湯を造るなど、秋保の発展に寄与した。



陶芸、ガラス細工、ワインなどを
通し、手仕事のぬくもりに触れ
る時間は、日常では得られない
気づきをくれます。自然がつくる
壮大な景観やアクティビティを楽
しんだあとは、やわらかな湯に身
をゆだね、心を解きほぐして。秋
保ならではの出会いと癒しが、
きっとあなたを待っています。

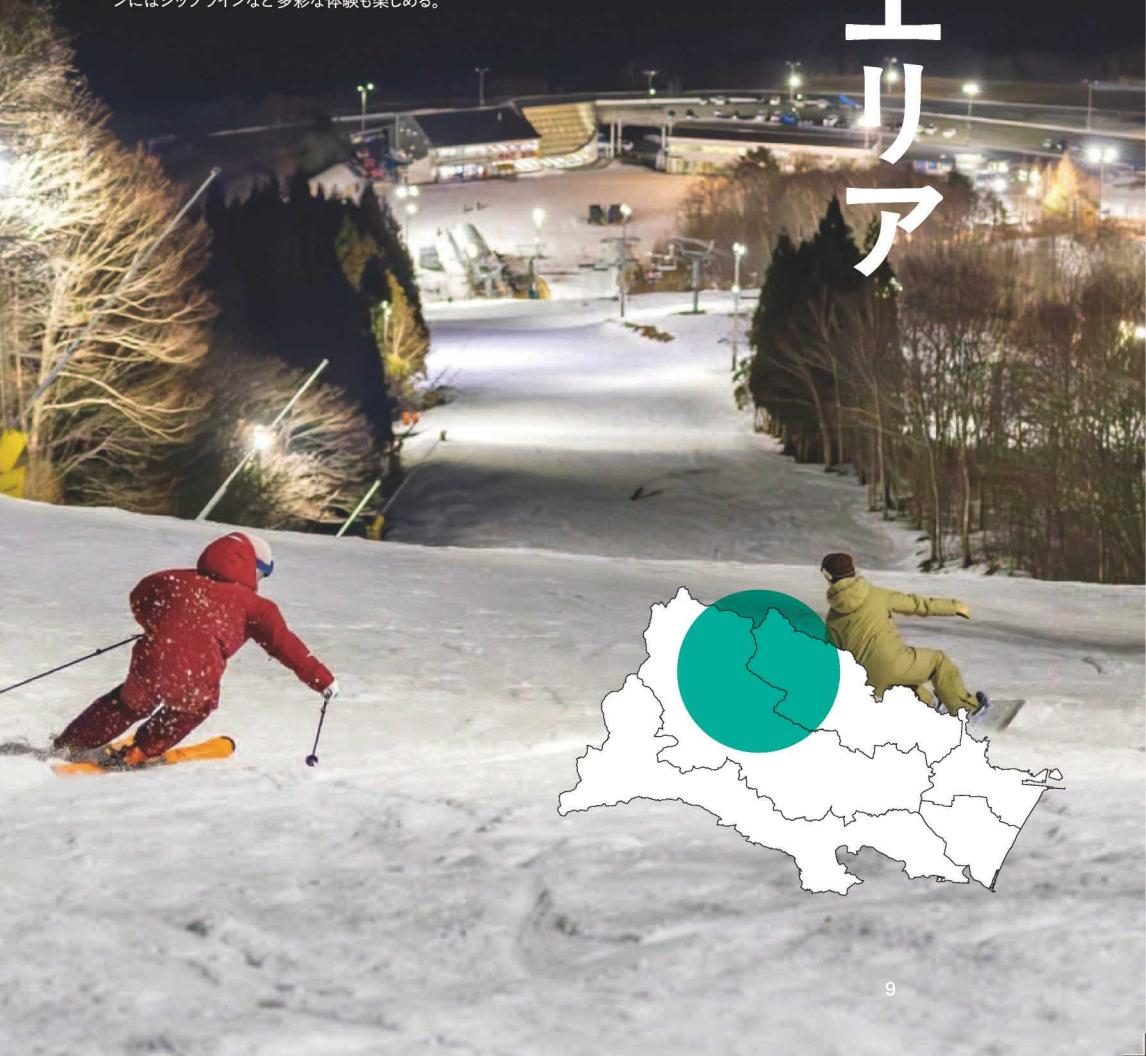


仙台めぐりのはじまり 3

作並・泉エリア

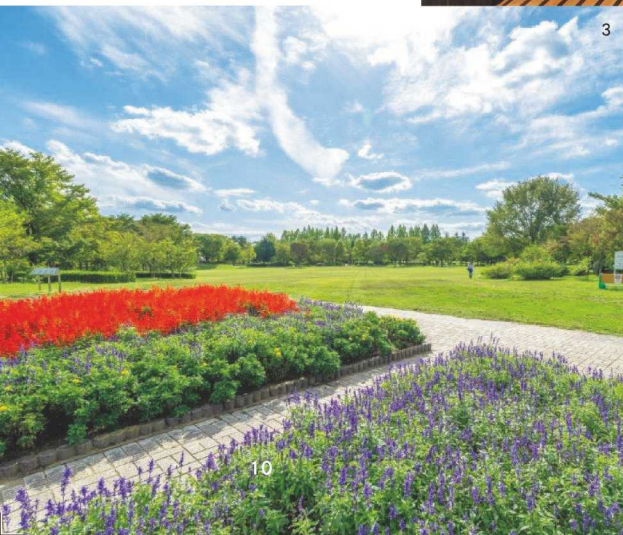
仙台市中心部から車で約45分。
水と緑が溢れ、自然の美しさを感じられる風景が広がる作並・定義地区のブランドコンセプトは「ゆっくりじっくり作並・定義リトリート」。リトリートとは、日常を忘れてリフレッシュする過ごし方のこと。春の芽吹き、夏の涼風、秋の彩り、冬の静けさ——このエリアで四季折々の自然とゆっくり向き

仙台中心部から車で約40分。仙台市民の憩いの山・泉ヶ岳の北東斜面に位置する「スプリングバレー仙台泉」。冬のスノーアクティビティに加え、グリーンシーズンにはジップラインなど多彩な体験も楽しめる。





1. 作並の2つの清流に囲まれた緑豊かな溪谷に位置する「ニッカウヰスキー仙台 宮城峡蒸溜所」。自然景観をそのまま生かした敷地にある、さまざまな設備では、ウイスキーの魅力にふれることができる。 2. 源頼朝も戦の疲れを癒したとされる作並温泉。「美女づくりの湯」として親しまれている。 3. 七北田川沿いに設置されている「やまいちサステナパーク七北田公園」。子どもに人気の大型遊具や、泉ヶ池や芝生広場など、市民の憩いの場として愛されている。



合う時間は、心と体をそっとほめてくれます。温泉に浸かって体を癒したり、溪谷を歩いて自然の音色に耳を傾けたり、歴史ある定義如来参拝や名物三角あぶらあげも楽しみながら、肩の力を抜いて、自分自身と向き合う。そんな静かで心を満たすリトリートの旅がここにあります。

仙台めぐりのはじまり 4

東部エリア

仙台市には、奥羽山脈を望む西部「山手(やまのて)」と、仙台湾に面して南北に広がる「海手(うみのて)」という、異なる魅力を持つふたつの顔があります。そんな東部エリアのブランドコンセプトは、「くらしに+せんだい海手リゾート宣言」。波音や潮風、豊かな自然を感じるこのエリアでは、海辺の散策やアウトドア体験、シヨッピ

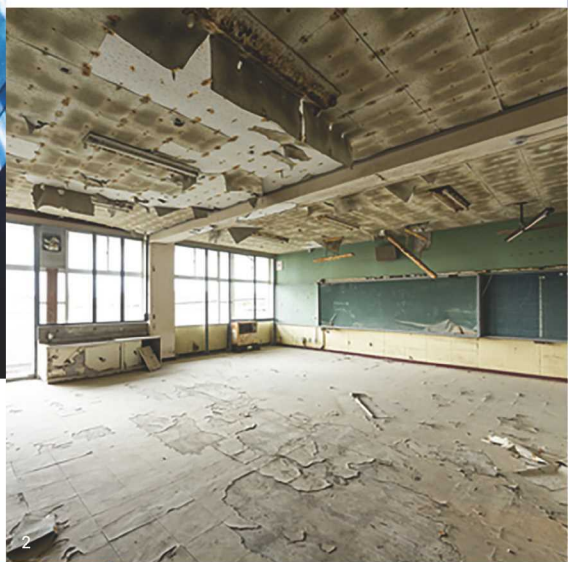
仙台中心部から東に約10kmの場所に位置する「深沼海水浴場」。海岸線がまっすぐ続く市内唯一の海水浴場で、東日本大震災の影響で長らく閉鎖していたが、2025年に待望の全面再開を果たした。





1

ング、防災学習施設の見学など、さまざまな過ごし方が可能です。例えば季節の果物を味わうフルーツ狩りや、三陸の海の営みにふれる水族館など、大人も子どもも楽しめる魅力が満載。「海」「自然」とつながる時間を通して、あなたの暮らしに+（プラス）になる体験を持ち帰ってみてください。



2



3

1.豊かな三陸の海を再現した大水槽をはじめとした展示や、世界のユニークな生きものたちの展示を通じて、海の魅力をたっぷり楽しめる「仙台うみの杜水族館」。

2.「震災遺構 仙台市立荒浜小学校」では、被災した校舎のありのままの姿や被災直後の写真展示により、津波の脅威を知ることができる。

3.伊達政宗公が晩年に、松島湾と阿武隈川を結ぶ運河として建設を命じ、明治中期に完成した「貞山堀」。陸上交通が発達する以前は、年貢米や木材などを積んだ舟が盛んに行き交っていた。